

Let's

DISCOVER

YOUR WAY OF LIFE



例えば、観光のお手伝い



例えば、農作業のお手伝い



例えば、交流イベントに参加

ふるさとで出会う、自分らしい自分！



ふるさとワーキングホリデー

「ふるさと」で仕事をしながら、リアルな「ふるさと生活」を体験してみよう。

地域の仕事を稼ぐ！

滞在期間は1週間程度から！

地域の人たちと交流する！

地域と自分のために！

総務省主催 ふるさとワーキングホリデー合同説明会

名古屋 7/7(土)

会場：AP名古屋 会議室 B+C+D
受付開始：13:30 時間：14:00-16:30

東京 7/8(日)

会場：渋谷フォーラムエイト クイーンズスクエア
受付開始：13:30 時間：14:00-16:30

大阪 7/14(土)

会場：梅田スカイビル スカイルーム1
受付開始：13:30 時間：14:00-17:30

東京 7/21(土)

会場：TKPガーデンシティ渋谷 ホールA
受付開始：13:30 時間：14:00-17:30

※説明会の最新情報は「ふるさとワーキングホリデー ポータルサイト」にて詳細をご確認くださいませ。



全国の「ふるさとワーホリ」のお仕事・説明会情報が満載！

ふるさとワーキングホリデー

検索

<https://furusato-work.jp>



お問い合わせ先

総務省 地域力創造グループ地域政策課 ふるさとワーキングホリデー担当
住所：東京都千代田区霞が関 2-1-2

電話番号 03-5253-5523 メール chisei@soumu.go.jp



総務省



GO TO THE COUNTRYSIDE

Let's DISCOVER YOUR WAY OF LIFE



日本中のふるさとで地域の仕事をしながら、地域の人たちとの交流や学びを通じてリアルに地域の暮らしを体験できるふるさとワーキングホリデー。新しい地域を知り、新しい自分を知る。そんな人生にとって貴重な時間と経験を手にしてみませんか？まずは各地で総務省が主催する合同説明会に足を運んでみましょう！

体験者の声

「働いてお金を稼ぐことができるだけでなく、その地域の人々と交流したり、その地域の伝統や特色を知る良い機会になります。」

内田麟太郎さん（大学2年生） 福島県の酒造でのお酒作り

「迷っているのならとりあえず行ってみるのが大切だと思います。自分を振り返るチャンスにもなるし、そこから得る学びが必ずあるはずですよ。」

木村英里さん（大学3年生） 山口県のほうれん草農家

「ふるさとワーホリ」の1日はこんな感じです！ <-例>

平日	06:30	09:00	12:00-13:00	15:30	16:30	17:30	18:30	21:00	22:00
	起床～朝食	野菜の選果・出荷作業	昼食	トラクターでの作業など	休憩（おやつ）	収穫作業	地域の人たちとの交流会や意見交換	ルームメイトと談笑	就寝

もちろん休日は、ゆっくり休んだり観光したり、地域を自由に体験することができます！

参加するには、どうしたらいいの？

参加するまでの流れをご紹介します

希望者は各地で開催される説明会に参加して話を聞いてみましょう！自治体の方々からも、分科会でより詳しい仕事や地域の情報をヒアリングできます。

STEP 1 まずはポータルサイトをチェック
仕事・交流イベントの情報検索から各自治体の募集情報をチェック

STEP 2 説明会参加（希望者）
説明会に参加して、知りたい情報を集めよう！

STEP 3 体験したい仕事や交流イベントを選択
体験したい仕事や交流イベントを選ぼう！

STEP 4 体験したい仕事や交流イベントを決定
自治体に詳細を確認して仕事や交流イベントを決めよう！



参加が決まったら出発の準備を始めよう！



ポータルサイトならふるさとのお仕事や交流イベント、説明会などの情報が満載！

体験ムービーや体験談が見られます！

全国のお仕事がラクラク検索！

全国の説明会情報をタイムリーにお届け！

ふるさとワーキングホリデー 検索



<https://furusato-work.jp>

詳しい内容については各自治体へお問い合わせください。

ふるさとワーキングホリデー推進事業

H30予算 0.7億円

○ 都市部の人たちなどが一定期間地方に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて地域での暮らしを体感する「ふるさとワーキングホリデー」を推進するため、説明会や総合広報を実施。

- ・専用のポータルサイトの運用
- ・SNS(Twitter、facebook)の運用
- ・インターネット広告の実施
- ・説明会の開催 等



支援

ふるさとワーキングホリデー

地方公共団体

- ✓ 地域の魅力を知ってほしい
- ✓ 交流人口を増やし消費を拡大したい
- ✓ 少しでも多く定住してほしい

滞在中、地域住民との交流や学びの場として地域の魅力・特色を活かした、各地域ならではのプログラムを参加者に提供。

参加者

- ✓ 旅行では味わえない体験がしたい
- ✓ 地域との交流を深めたい
- ✓ 第二のふるさとが欲しい

地元農家や企業等の業務に従事し収入を得ながら、地域との関わりを深める取組を通じて地域での暮らしをまるごと体感。

これまでのモデル事業の実績(H30.3時点)

4,200件以上の申込みがあり、1,800人を超える者が参加。

実際に行ってみると思っていた以上に新しい人々との出会いや刺激に溢れていました。時間が許すなら理由がなくとも、ぜひ参加すべきと思います。(大学4年生)

「ごっこ汁」の味や雪国での生活の知恵、価値観の違いによる町おこしの難しさなど、様々な人々との交流から多くのことを学びました。(大学1年生)

麴の管理のために蔵の中に泊まることなどは、実際に酒造で働かなければ体験できないものでとても良い経験となりました。(大学2年生)

※ ふるさとワーキングホリデーに要する経費について特別交付税措置(拡充)
(対象経費の上限額 1団体あたり15,000千円+5千円×全参加者の延べ滞在日数)